

平戸市総合戦略 個別施策の進捗状況（令和5年度実施）

1. 基本的事項	
基本目標	1. 雇用の促進～しごとをふやすプロジェクト～
目標を達成するための方策	ア) 就労機会の拡大
	イ) 就労環境の整備
	ウ) 新たなビジネスの創造

2. 数値目標								
数値目標	単位	基準値	R元	R2	R3	R4	R5	目標値
市内事業所の従業者数	人/年	6,191	6,191	6,258	6,328	6,230	6,224	6,191

3. KPI（重要業績評価指標）								
KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値	R元	R2	R3	R4	R5	目標値
ハローワークを通じた新規就職者数	人/年	401	365	367	378	350	332	358
企業立地数	社	1	3	5	5	6	6	4
市内の求職者数	人/年	314	339	349	332	300	308	250
年間創業者数	人/年	8	10	6	8	3	12	14

4. 進捗状況の分析
<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、各分野においてコロナ禍前の状況に戻りつつある。</p> <p>昨今の物価高騰等によって、宿泊施設や飲食店をはじめとした市内事業者は大きな影響を受ける中、国からの交付金等を活用したソフト・ハード面における支援により、事業の継続及び経済の活性化を図ってきたところである。</p> <p>ハローワークを通じた新規就職者数は人口減少等も重なり、減少傾向となっているが、地場企業就職促進事業によるバスツアー参加者の増等、市内企業の認知度向上を図ってきたところである。また、令和4年度に市内の求職者数や年間創業者数の実績が落ち込んだものの、創業支援対策事業による創業支援セミナー開催や創業時の費用補助等により、令和5年度は増加に転じている。</p>

5. 今後の方針
<p>地場企業就職促進については、近隣の高校生を対象に行っている企業見学バスツアーの対象拡大や地元企業合同説明会を継続して実施し、市内企業の魅力を伝え、地元就職者の増加を目指す。</p> <p>中小企業等に対する支援等については、施設整備・設備導入への支援や企業人材育成に係る支援等を今後も制度の見直しを図りながら継続していく。</p> <p>創業支援については、創業者が増加傾向にあることから、オンライン受講を継続し市外からも創業セミナー参加者を受け入れるとともに、市内創業者への補助金交付による負担軽減等を図り円滑な創業につなげる。</p> <p>企業誘致については、工業団地整備事業として令和9年度の分譲開始に向けて整備を進めるとともに、企業訪問及び情報提供を継続して行い、設備投資計画の把握や企業ニーズに合った支援策の検討を行っていく。</p>

1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	1. 雇用の促進～しごとをふやすプロジェクト～
方策名	ア) 就労機会の拡大
方策の概要	ハローワークと連携し事業所等と求職者のマッチングの機会を創出し、市内での安定した就労ができる仕組みづくりを推進します。
	若者やUIターン者等に向けた就労支援を行い、求職者と企業等とのミスマッチ解消に取り組みます。
	市内企業等の魅力を、求職者や市内高校生等の若年層へ伝える活動を推進します。
	高齢者の経験を活かした、就労機会の拡大に努めます。
	介護職人材の確保と定着促進、キャリア形成のための環境整備を行います。
	企業立地の受け皿となる本市の工業団地を中心に企業誘致を進め、新たな雇用の創出を図ります。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	地場企業就職促進事業	商工物産課	平成30年度	継続	4
2	企業誘致対策事業	商工物産課	平成27年度	継続	5
3	介護職人材確保支援事業	長寿介護課	平成26年度	継続	6

事 業 評 価 シ ー ト

事業名	地場企業就職促進事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	3	2	実施年度	平成30年度 ~

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	987	397	2,520	909	1,805	6,573
国県支出金	462	195	1,254	454	585	1,849
地方債						
その他	525	202	1,266	362	1,164	4,536
一般財源				93	56	188

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

市内の高校生等が市内企業等を知る機会を提供し、市内企業等の認知度向上や求人状況を周知するとともに、高校生等の市外流出に歯止めをかけることと併せて、地場企業の人材確保を目的とする。

【事業内容】

- ・一般、Uターン者等を対象とした合同企業面談会の開催
- ・市内小・中・高校及び市外専門学校を対象とした企業見学バスツアーの実施
- ・市内高校1、2年生を対象とした地元企業合同説明会の開催

事業の実施状況（DO）

1. 合同企業面談会
7/9 一般求職者（UIJターン者含） 参加者：9人 参加企業：8社
2. 企業見学バスツアー
市内高校外 3校（北松農業・平戸・鹿町工業） 参加者：150名
市内小・中学校 ・小学校 5校 参加者：145名 ・中学校 6校 参加者：167名
市外専門学校（デザイン系）1校 参加者：67名
3. 地元企業合同説明会
6/12 平戸高校1・2年生 参加者：50名、参加企業：16社
2/21 北松農業高校2年生 参加者：66名、参加企業：15社

事業実施による成果（CHECK）

進路選択の時期である市内高校1、2年生を対象として地元企業合同説明会や新たに地元小・中学校及び市外専門学校を加えた企業見学バスツアーを拡充し、開催することができた。継続的な取り組みにより、令和6年3月地元高校卒業生の内9名が市内企業への就職となり、若年者の雇用及び定住につなげることができた。

年堂	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 合同企業面談会参加者	人	23	0	0	20	9	年度
② 企業見学バスツアー参加者	人	105	24	79	155	529	年度
③ 地元企業合同説明会参加者	人	125	92	69	114	116	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	合同企業面談会においては、台風接近時の開催となり、例年の参加者を大きく下回る結果となった。しかし、今後の開催時期や方法も含めハローワークと協議し、求職者等が参加しやすい面談会の開催を模索する。また、企業見学バスツアーについては、小学校を実施対象としていることから、児童にもわかりやすい説明方法を受入企業と研究する。						
今後の方針	G	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続					

事業評価シート

事業名	企業誘致対策事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	3 目	総合計画施策体系	1	2	1	1	実施年度	平成27年度 ~

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	6,217	2,633	1,301	3,546	2,800	1,901
国県支出金						
地方債						
その他						
一般財源	6,217	2,633	1,301	3,546	2,800	1,901

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 本市への企業誘致及び立地を促進し、地域における就業及び雇用機会の創出を図るとともに、地域産業の振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【事業内容】 本市への立地に意欲がある企業等への継続訪問及び新規企業への訪問を実施し、本市のPRと併せて今後の設備投資等に係る情報収集を行う。また、本市に立地した企業の操業が円滑に進められるように、県及び県産業振興財団と連携を図りながら立地企業へのサポートを行う。</p>

事業の実施状況（DO）

<p>1. 市職員による企業訪問件数 企業訪問 19社（新規5社、継続14社）、延べ訪問数 23社</p>

事業実施による成果（CHECK）

<p>1. 本市への立地に意欲がある企業に対して継続した企業訪問を行い、今後の誘致に向けた関係構築につながった。 2. 立地企業に対して県及び県産業振興財団と連携したサポートを行い、円滑な操業支援につなげることができた。</p>
--

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 企業訪問件数（延べ数）	社	243	25	11	27	23	年度
② 立地・奨励企業数	社	3	5	5	6	6	積上

事業の改善（ACTION）

<p>事業実施に係る課題及び改善点</p> <p>平戸市内の工業団地は全て活用されている状況であり、企業誘致をさらに推進するため、新たな工業団地を造成する。 令和3年度に工業用地適地調査により候補地を選定、令和4年度に基本設計、令和5・6年度に実施設計、令和7・8年度に整備工事をを行い、令和9年度の分譲開始に向けて整備を進める。 また、訪問企業に対して継続的な情報提供を行い、切れ目のない誘致活動に取り組むとともに、企業訪問を通じて設備投資計画等の把握に努め、企業ニーズに合った支援策の検討を行う。</p>
<p>今後の方針</p> <p>G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続</p>

事業評価シート

事業名	介護職人材確保支援事業						担当課	長寿介護課			
予算科目	3 款	1 項	3 目	総合計画施策体系	3	3	1	1	実施年度	平成26年度 ~	

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	2,720	1,525	1,639	2,623	1,933	3,300
国県支出金						
地方債						
その他	242		242	328	1,830	3,110
一般財源	2,478	1,525	1,397	2,295	103	190

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 今後、深刻な介護人材の不足が予測される中、適正な介護サービスを提供するため、市内の介護サービス事業所における人材の確保・定着・育成を推進することを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成推進事業 介護職の確保と定着を図るため、市内介護サービス事業所への新規・継続就労者及び必要とされる資格取得者に対して賞賜金を交付する。 ・介護人材インターンシップ推進事業 介護福祉士等の資格取得を目指す実習生の受入を行う市内介護サービス事業所に対し、受入経費を補助する。 ・介護職イメージアップ事業 介護職のイメージアップを図るため、介護関連映画の上映会を実施する。
--

事業の実施状況（DO）

<p>1. キャリア形成推進事業</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">新規雇用 30歳以下で市内の介護サービス事業所に就職した者に50千円を交付</td> <td style="text-align: right;">実績 5人</td> </tr> <tr> <td>継続雇用 上記の者で同一事業所に3年以上勤務したものに100千円を交付</td> <td style="text-align: right;">実績 6人</td> </tr> <tr> <td>資格取得 初任者研修受講者や介護福祉士等の資格取得者に50千円を交付</td> <td style="text-align: right;">実績 13人</td> </tr> </table> <p>2. 介護人材インターンシップ推進事業 受入事業所 1事業所 実習生 3人受入れ</p> <p>3. 介護職イメージアップ事業 映画(オレンジランプ)上映 生月町開発総合センター 参加者数 112人</p>	新規雇用 30歳以下で市内の介護サービス事業所に就職した者に50千円を交付	実績 5人	継続雇用 上記の者で同一事業所に3年以上勤務したものに100千円を交付	実績 6人	資格取得 初任者研修受講者や介護福祉士等の資格取得者に50千円を交付	実績 13人
新規雇用 30歳以下で市内の介護サービス事業所に就職した者に50千円を交付	実績 5人					
継続雇用 上記の者で同一事業所に3年以上勤務したものに100千円を交付	実績 6人					
資格取得 初任者研修受講者や介護福祉士等の資格取得者に50千円を交付	実績 13人					

事業実施による成果（CHECK）

<p>第8期平戸市介護保険事業計画(令和3～5年度)における3年間の介護職員雇用者数の目標21人に対し、実績が20人とおおむね達成でき、若い介護職員の確保につながった。また、継続雇用率は、令和元年から令和2年の新規雇用者で85%以上あり、定着にもつながった。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 本事業に係る介護職員雇用者数	人	5	7	5	10	5	年度
② 本事業に係る継続(3年)雇用率	%	-	-	-	100	85.7	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	<p>今後、生産年齢人口が減少する中で、地域内だけで介護人材を確保していくことは難しくなると予測される。介護事業所が求めている人材を的確に把握し、Uターンも含めた雇用確保対策を継続していく必要がある。</p>						
今後の方針	G	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続					

1. 各方策の実施状況	
基本目標	1. 雇用の促進～しごとをふやすプロジェクト～
方策名	イ) 就労環境の整備
方策の概要	行政と事業所の協働により、多様な働き方を推進するとともに働きやすい職場環境づくりを推進します。
	男女がお互いの人権を尊重し、それぞれの個性と能力を活かしながら、あらゆる活動に参加できる社会の実現を目指します。
	仕事と家庭を両立することができるよう、職場復帰への環境づくりや適正な就業時間の遵守等について、市民や事業所等への啓発を行います。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	中小企業等設備投資関連支援事業	商工物産課	平成28年度	継続	8
2	中小企業等人材育成支援事業	商工物産課	平成29年度	継続	9

事 業 評 価 シ ー ト

事業名	中小企業等設備投資関連支援事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	3	1	実施年度	平成28年度 ~

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	15,300	10,403	18,600	18,000	12,124	28,000
国県支出金	3,000	3,000		6,000	5,499	6,000
地方債						
その他	12,300	7,403	18,600	12,000	6,625	22,000
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 本市の経済や雇用を下支えしている中小企業等を支援するため、中小企業等の付加価値額の向上に資する設備投資への支援を行い、地域の課題解決に資する地場産業の育成、新たな雇用創出や就業環境の改善を図ることを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業等経営力強化促進支援事業：付加価値額（営業利益＋減価償却費＋人件費）の向上に取り組む設備投資への支援 機械装置の購入等に要する経費の2/3以内 補助限度額 5,000千円 ・地域産業雇用創出チャレンジ支援事業：設備導入及び施設改修等への支援及び雇用保険受給者1人以上雇用設備導入及び施設改修等に要する経費の2/3以内 補助限度額 4,000千円
--

事業の実施状況（DO）

<p>1. 中小企業等経営力強化促進支援事業補助金 1件 補助額 4,792千円 業種内訳（製造業）</p> <p>2. 地域産業雇用創出チャレンジ事業支援補助金 2件 補助額 7,332千円 業種内訳（小売業【新規雇用1名】、小売業【新規雇用1名】）</p>
--

事業実施による成果（CHECK）

<p>市内中小企業者の付加価値額向上に資する設備投資に対して支援を行うことで、対象企業の付加価値額向上や就業環境の改善及び新規雇用2名の確保につながった。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 支援件数（経営力強化）	件	1	1	4	2	1	年度
② 支援件数（チャレンジ）	件	1	1	0	2	2	年度
	件						

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	本事業は、本市の経済や雇用を下支えしている中小企業等に対する支援であるため、引き続き事業を継続する必要がある。						
今後の方針	G	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続					

事業評価シート

事業名	中小企業等人材育成支援事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	3	2	実施年度	平成29年度 ~

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	150	110	290	495	734	1,000
国県支出金						
地方債						
その他	150	110	290	495	734	1,000
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

中小企業等企業経営に必要な人材を育成及び確保するため、従業員の技能・技術向上及び資格取得のための研修参加等に係る費用の一部を助成し、持続可能な経営の支援を行うことを目的とする。

【事業内容】

市内中小企業等に勤める従業員の能力向上や資格・技術の習得を図るための経費を一部助成する。

- ・人材育成研修会等開催支援事業
研修会などの開催に要する経費の1/2以内 補助限度額 100千円
- ・中小企業大学校・人材育成研修等参加支援事業
研修会などの参加に要する経費の2/3以内 補助限度額 受講者1人当たり年間50千円以内（1事業者当たり250千円を上限）

事業の実施状況（DO）

1. 中小企業大学校・人材育成研修等参加支援事業

10件 補助額 734千円
 研修会等開催支援事業 2事業所
 研修会参加事業 8事業所

事業実施による成果（CHECK）

市内中小企業者等が開催する研修会や従業員の技能・技術向上や資格取得に対する支援を行うことで、中小企業者等の人材育成につなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 支援件数	件	2	2	5	7	10	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

本事業は、中小企業等の人材確保を図るため、従業員の技能・技術向上のための資格取得に係る経費の一部に対し支援を行っている。今後、更に中小企業等の人材を育成及び確保するため、他市等の事例を参考にし、制度の見直しを図りながら継続的に支援を行う必要がある。

今後の方針

G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

1. 各方策の実施状況	
基本目標	1. 雇用の促進～しごとをふやすプロジェクト～
方策名	ウ) 新たなビジネスの創造
方策の概要	空き店舗等の活用促進や平戸産品を用いた新商品開発に対する支援を行い、市内の既存資源を活用した新規ビジネスの創造を図り、新たな雇用の創出を推進します。
	平戸市で新たに創業したい人に対する支援を行い、新たな産業の創出を図ります。
	平戸市の地域資源を活用した新たなビジネスや本市が抱える地域課題を解決する産業の創出を図ります。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	創業支援対策事業	商工物産課	平成27年度	継続	12

事業評価シート

事業名	創業支援対策事業						担当課	商工物産課			
予算科目	7款	1項	2目	総合計画施策体系	1	2	1	2	実施年度	平成27年度～	

事業費（千円）	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費	31,941	32,512	35,051	36,250	35,228	39,214
国県支出金		31	32		21	21
地方債						
その他	31,882	32,450	34,987	36,207	35,185	37,000
一般財源	59	31	32	43	22	2,193

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

地域の新たな需要に対して、創業支援等計画に基づき創業希望者への支援を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的とする。

【事業内容】

- ・ 中小企業創業支援資金預託金
- ・ 中小企業創業支援資金保証料補給金
- ・ 中小企業診断士による個別創業相談会の実施
- ・ 創業セミナー（平戸起業塾）の実施
- ・ 創業支援事業 市内で新たに創業するもの 補助率1/2以内 補助限度額 1,500千円
 上記で20～34歳のものの場合 補助率1/2以内 補助限度額 2,000千円

事業の実施状況（DO）

1. 中小企業創業支援資金預託金 ※預託金額 30,000千円
 新規融資：1件 4,000千円（十八親和銀行） 融資残高：10件 18,468千円（十八親和銀行）
2. 中小企業創業支援資金保証料補給金
 長崎県信用保証協会 補給額：172千円
3. 個別相談会
 開催回数：17回、相談件数：13件（延べ15人）
4. 創業セミナー（平戸起業塾）
 開催回数：5回、受講者数：17人（延べ67人）
5. 創業支援事業補助金
 3件 補助額 3,387千円

事業実施による成果（CHECK）

市内での創業希望者に対して、商工団体等と連携した創業セミナーや個別創業相談会を開催し、創業に必要な基礎的な知識の習得支援を行うとともに、加えて、オンライン講座を実施することにより、市外からもセミナー参加者を受け入れることができた。

また、市内で新たに創業した3名に対し市の創業支援補助を交付し、創業時の費用軽減を図り、円滑な開業につなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度/積上
① 相談件数	件	6	6	6	7	13	年度
② 融資利用件数	件	5	14	13	13	10	年度
③ セミナー受講者数	人	28	28	18	14	17	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	<p>創業者数が増加傾向にあることから、各種事業を活用しながら、創業希望者等への支援を行うとともに、創業後のアフターフォローを含め、創業者間の意見交換等を通じて本事業の積極的な推進を検討する。</p>						
今後の方針	G	A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続					